

高知工科大学 経済・マネジメント学群

2024 年度 卒業論文

リアルな友人に求めるものと

SNS の友人に求めるものの

違いについて

指導教員氏名 小林豊

学籍番号 1250426

氏名 加藤悠真

リアルな友人に求めるものと SNS の友人に求めるものの違いについて

1250426 加藤悠真

指導教員 小林豊

研究背景

近年、ソーシャルメディアやオンラインコミュニケーションツールの普及が急速に進んでいる。これらのテクノロジーは人間関係の構築と維持に新たな方法を提供しており、個人がより多くの友人と繋がる機会を提供している。そこで、リアルな友人と SNS での友人に求めることは異なる可能性があり、両者を併用することで、個人は異なるニーズを満たすことができるのではないかと考えられる。

研究目的

本研究では、ウェブアンケートにより、リアルな友人関係と SNS の友人関係の間に存在する相違点を理解し、デジタルコミュニケーションの普及に伴う社会的変化とその影響力を明らかにする。

調査・分析方法

6 属性 2 水準の評点ベースコンジョイント分析により、性別(同性-異性)、世代(同世代-異世代)、趣味(同じ-異なる)、居住都道府県(同じ-異なる)、信頼度(信頼できる-あまり信頼できない)、価値観(同じ-異なる)の 6 属性について、「リアルで友人になりたい度合」と「SNS 上で友人になりたい度合」に対して各水準が貢献する度合いを推定、そこから重要度を算出し、リアルと SNS での重要度を比較した。また、「リアルで友人になりたい度合」と「SNS 上で友人になりたい度合」の評点の間の相関係数を計算した。

分析結果

リアルと SNS 間の評点の相関係数はおよそ 0.8 となり、両者には高い一致が見られた。また、リアルでも SNS 上でも「信頼度-信頼できる」が最も大きな貢献度を示した。リアルで友人になりたい度合いでは「趣味-同じ」や「価値観-同じ」も一定の貢献を示したが、「性別-同性」や「世代-同世代」の影響は比較的小さいものであった。SNS 上で友人になりたい度合いでは「趣味-同じ」や「価値観-同じ」の貢献度はリアルよりも僅かに高いことが示され、「性別-同性」は有意性が低い結果となった。

考察・結論

リアルと SNS の友人関係では信頼が共通して重要であり、SNS では趣味や価値観の共有が特に重視される。性別や世代の影響は SNS では限定的で、匿名性や柔軟性が要因と考えられる。リアルと SNS の関係性が弱い補完的役割を果たす可能性が示唆された。今後は偶然や環境が友情形成に与える影響を探る必要がある。